

脳卒中は「FAST」で即通報



永富脳神経外科病院 病院長

湧川 佳幸氏

24時間365日、救急患者を受け入れる脳神経外科の2次救急病院として、1978年に永富裕文理事長が開設。大分市を中心とした地域医療を支え続け、今年で44年目を迎える。「人間愛と生命の尊厳」を理念に掲げ、少しでも早い処置が必要な脳卒中の治療などに取り組んでいる。

脳卒中には、脳内の血管が詰まる脳梗塞や、血管が破れる脳出血、血管にできたこぶ（脳動脈瘤）が破れることが多く、いくも膜下出血などがある。

2021年11月現在、常勤医師12人が所属。血栓溶解療法や脳血管カテーテル治療、血栓を吸い取る血栓回収療法など、開頭手術に比べて体の負担が少ない治療も行っている。「高齢の患者が多く、中には90代の方もいる。医療技術の進化に対応したい」と意気込む。

このような脳血管内治療に用いる機器では昨年、MRI（磁気共鳴画像装置）を更新。より鮮明な画像が見られるようになり、診断・治療に貢献し

ている。また、脳腫瘍などにピンポイントで放射線を照射して治療するガンマナイフの機器も今年、更新する予定。入院病床は急性期一般病床79床、回復期リハビリテーション病床39床、療養型病床35床をそれぞれ備える。

15年の病院長就任以来、脳卒中教室やラジオ番組などで基礎知識、予防法の啓発に力を入れている。「脳の病気は気になると、詳しくは知らないという人が多い現状を変えていきたい」。片側の手足や顔のみひ、ろれつが回らないと

いった症状が出たらすぐに救急車を呼ぶことを勧める。「治療が早ければ早いほど後遺症のリスクは減る。Face（顔）Arm（腕）Speech（言葉）に異常が出たらTime（時間）が大事。高齢者と暮らす家族は「FAST」をしっかり覚えてほしい」と呼び掛ける。

「血圧や血糖値、コレステロール値の管理、小まめな水分補給といった普段の健康管理が予防の基本。気になることがあれば相談に来られる、地域に寄り添う病院でありたい」と願う。

病院DATA

●診療科目

脳神経外科・脳神経内科・脳血管内科・神経眼科
放射線科・リハビリテーション科

●診療時間

平日／9:00～12:00、14:00～17:00

土曜／9:00～12:00

●休診日

日曜、祝日

※急患は24時間365日対応



地域に寄り添う病院を目指す

